

タマネギの皮で色を染める

「色を染める」(大竹三郎著、大日本風書)を見ていると、下の図のよ
うなことがのっていた。さっそく、クラゴの子どもにやってみらった。

みごとに色(黄色、やさぶさ色)に、ハンカチを染めあげたのである。
大竹氏は、その著ごさらに、次のように言っている。

「じっさい、タマネギ
をずっとむかしから料
理に使用してきた西洋
では、染料として利用
していきした。いやき
れどころが、タマネギ
の原産地のイランでは
あのパルシヤのじゆう
たんが、また、インド
では、サラサが、この
タマネギの皮からとっ
た染料で染められてき
たといひます。」

こんな、自然とのつ
きあい方を、どうして
も、子どもたちとも
に学びたい。

これを機に、急に、「
草木染め」に興味をそ
ちはじめたのである。

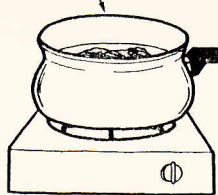
冬休み、子どもたち
の「自由課題」としまし
た、どんな反響が出て
くるだろう、楽しみで
す。

(植田)

タマネギの皮の実験

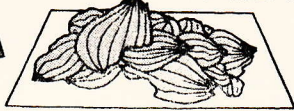
①タマネギの皮を5グラムほどあつめ、これを1000mlの水で30分ぐらい弱火
でにる。(水が少なくなったらくわえてもよい)

ホーローのなべ



(電熱器かコンロ)

タマネギの皮5グラム

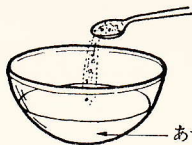


②「タマネギの皮」の液だけをわける



③べつのいれものに焼きみょうばんおよそ10gを1000mlのあつい湯にとかす。

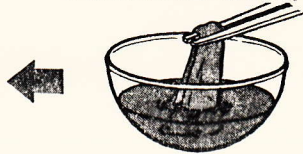
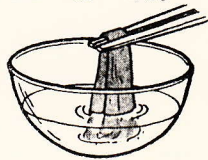
焼きみょうばん10グラム



あつい湯

④水でよくあらいかたくしぼった布
切れをタマネギの皮のあたたかい
液(40℃ぐらい)の中にしばらくのあ
いだつける。
布切れはどんな色になるかな。

⑤布切れはつぎに水あらいして、しほ
ったらこんどは焼きみょうばんの
あたたかい液につける。



焼きみょうばんに入れた布切れはどんな色になりましたか。

④→⑤をくりかえすと染まる色が濃くなる。